

市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース

ITAMI大好き!

vol.66

2016年3月

このチラシは、伊丹市議会議員「相崎佐和子」が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、**ポストイング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送**などでお届けしています。

現在、伊丹市議会の議長をしています。「議長って何をしているのかわからない」とのお声を頂戴することを踏まえ、この活動ニュースでは、**議長公務の様子などを議員活動と同時にご報告**しています。



相崎佐和子

LGBTとは？ どう支援できる？ ～会派視察～

1月31日～2月1日、会派「フォーラム伊丹」で東京方面へ視察に行きました。 ※会派 → 想いや方向性を同じくする議員で集った議会内のグループ。「フォーラム伊丹」は、28人中8人の議員が所属する伊丹市議会の単独最大会派。

■「LGBTって何？」フォーラム」at 明治大学

明治大学大学院で学んでいる山藁有理議員が院生メンバーと企画したフォーラム。LGBT(性的少数者)を学び考えようというもので、誰でも参加OKとのことゆえ会派視察として参加しました。最近メディアでも話題の「LGBT」。これは「性的少数者」を表し、レズ・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー(心と体の性が一致しない人)の頭文字に由来しています。



フォーラムでは、まず当事者3名を迎えて話を聞き、そのあとグループに分かれて議論しました。印象に残ったのは、「まず**当事者と実際に話をしてみる**！頭でLGBTを知っているだけと、実際に話して心で感じるのでは大違い」という言葉。確かに、目の前に実際に困ったり悩んだりしている人がいると、なんとかしたいと思うものです。接することで、理屈ではなく心で捉える。大事な観点だと思います。

前列：左から石川大我さん(豊島区議会議員)・石坂わたるさん(中野区議会議員)・松岡宗嗣さん(明治大学生)
↑ パネラーを務めた当事者の3名。
メディアなどでLGBT支援を訴える有名な方々！
後列：会派メンバー(左から川上・山藁・桜井・西村・保田・相崎)

LGBTだけでなく全ての人権課題は、多様性を認め合えるかどうかだと思っています。「自分はこう考える」「自分はこう生きてきた」という事柄は誰も持ってます。それは否定するものではないし、正しいとか間違っているとかいう類のものではありません。要は、自分とは違う考え方や生き方を、認めて受け入れることができるかどうか。**それぞれの違いを認め合い、全ての人が生きやすい社会にしていければ**と思います。

■「SNS情報を活用した防災対策」at 内閣官房

“内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室”で、**SNS情報を防災に活用する取り組み**について視察。 ※SNS：ソーシャルネットワークサービス。インターネット上で交流できるサービスのことで、フェイスブック・ツイッター・ラインなど。

災害時に最近では多くの方がSNSに「大雨で〇〇道路が冠水中！」など写真付きで投稿します。このような書き込み、実は即時性が高い貴重な情報。そこで**SNS書き込みをキチンとした情報にして活用**しようという取り組み。平常時から市民の投稿を受け付ける仕組みを整え、災害時には市民からのリアルな書き込みを的確にキャッチして対策に有効活用するという流れで、**取り入れる自治体が増加中**です。

SNSを取り巻く世界は刻々と変化していますが、**今後いっそう充実するツール**であることは間違いなし。その**SNSでの市民情報を行政で有効活用するのはおもしろい発想**。SNSを活用しない手はありません。伊丹でも検討を進めます。

